

丹原地域におけるデマンド型乗合タクシー 実証運行計画(案)について

平成30年8月

1. 丹原地域のバス路線

○丹原地域には、せとうち周桑バスが運行する「三芳線」「関屋線」「保井野線」「壬生川線」「湯谷口線(1系統は小松地域内のみ)」の5路線と、瀬戸内運輸と伊予鉄道が共同で運行する「特急 新居浜～松山線」が運行されている。

○このうち、保井野線は「湯谷口～落合～保井野」と「周桑営業所～湯谷口～保井野」の2系統、壬生川線は「周桑営業所～丹原上町～湯谷口」「周桑営業所～周桑病院～湯谷口」の2系統、湯谷口線は「小松総合支所前～大頭～湯谷口」、小松地域内を運行する「小松総合支所前～オアシス～小松総合支所前」の2系統で運行されている。

表 1 セとうち周桑バス路線の概要

運行系統名		系統キロ (km)	運行回数 (往復)	年間輸送人員 (人)
三芳線	周桑営ー三芳駅ー本谷温泉	31.7	3.0	2,918
関屋線	周桑営ー関屋ー湯谷口	24.4	3.5	4,950
保井野線	湯谷口ー落合ー保井野	14.1	0.5	141
	周桑営ー湯谷口ー保井野	36.9	4.5	3,328
壬生川線	周桑営ー丹原上町ー湯谷口	18.5	6.0	5,568
	周桑営ー周桑病院ー湯谷口	20.1	2.0	6,650
湯谷口線	小松総合支所前ー大頭ー湯谷口	10.1	7.5	5,644
	小松総合支所前ーオアシスー小松総合支所前	2.5	2.0	373
合計		158.3	29.0	29,572

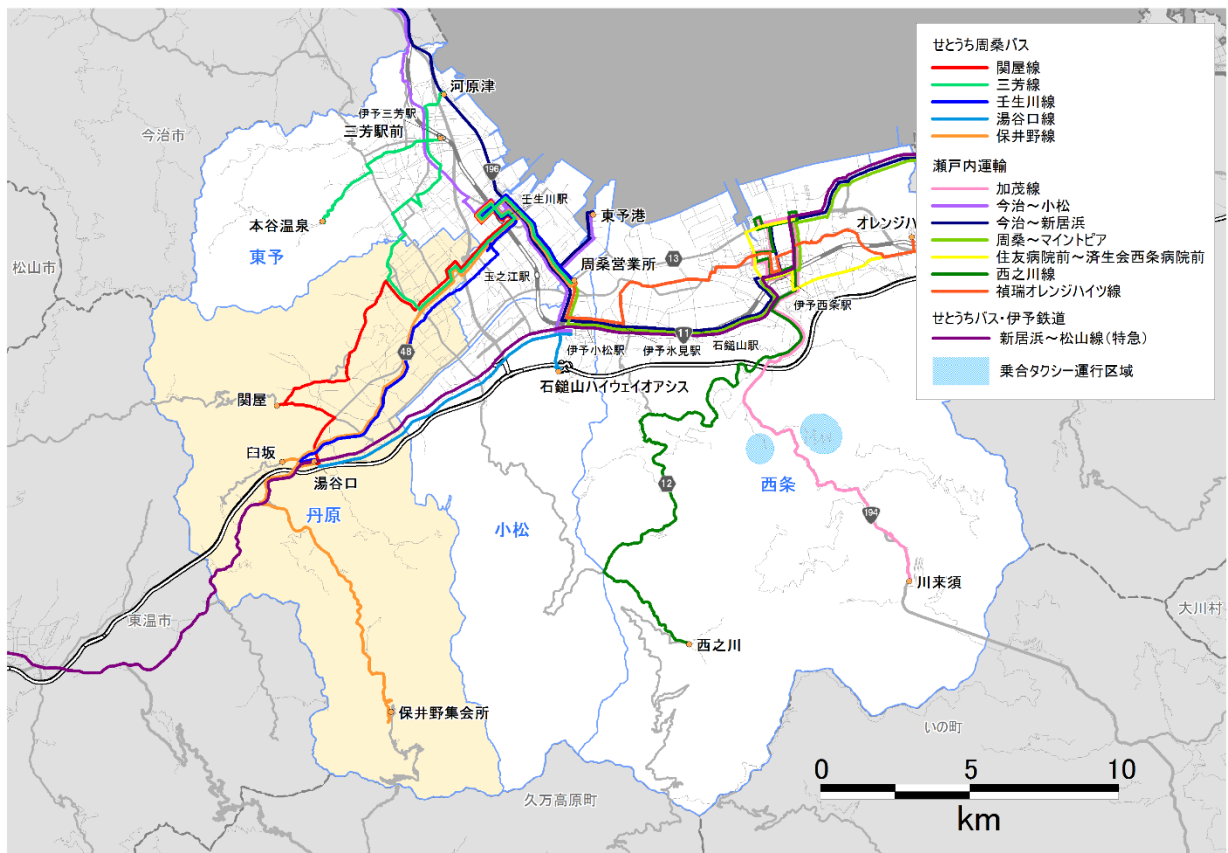


図 1 西条市のバス路線の状況

2. 再編の背景

○今回、丹原地域のバス路線を再編する背景として、以下のような点が挙げられる。

(1)公共交通空白地域の解消

○バス停から 300m~500m 距離が離れると、バスの利用率が急速に下がるという研究成果がある。ここではバス停から半径 400m 圏内がバスを利用できる範囲、半径 400m 以上の圏域をバスが利用しにくい「公共交通空白地域」と定義する。

○この定義を丹原地域にあてはめた場合、交通空白地域の状況は以下のとおりであり、地域内には一部にバスを利用しにくい地域が点在している。市民の移動利便性確保に当たっては、これらの公共交通地域を解消する必要がある。

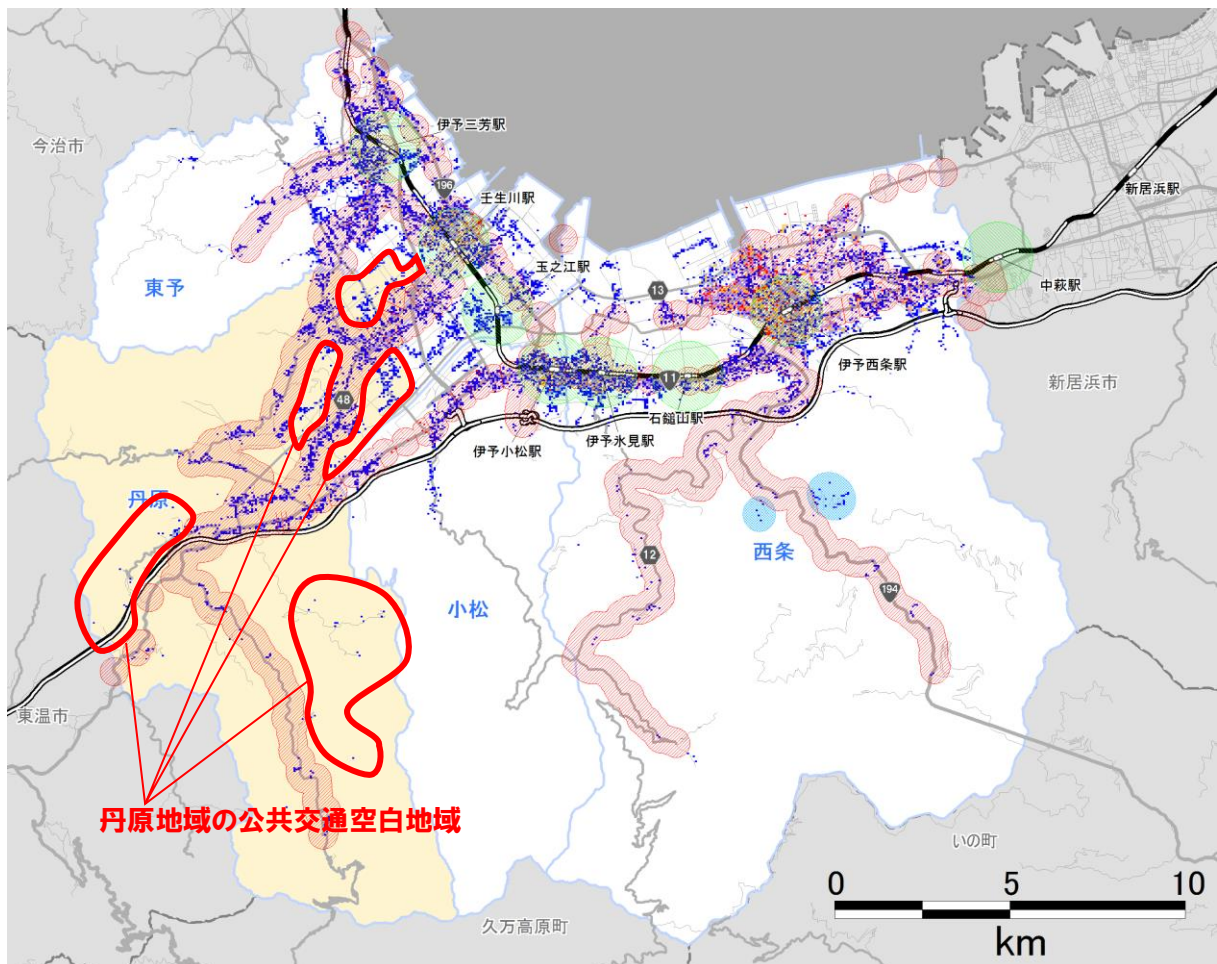


図 2 西条市の公共交通空白地域の状況

(2) 移動利便性の向上と免許自主返納者への対応

- 路線バスの利用者は車の運転免許証を持たない人の利用が中心で、特に高齢者がその大半を占めているが、高齢者の中にはバス停まで出かけることに負担を感じている人、買物の重い荷物を持ってバス停から自宅まで移動することが困難な人も見受けられる。
- これらの利用者がより便利に移動できる手段として、デマンド（予約）型乗合タクシーの導入が考えられる。これは、1台のタクシーにあらかじめ予約した人が乗り合わせるバスとタクシーの中間的な乗り物で、家の前（近く）から目的地までドア・トゥ・ドアで輸送するため、自宅からバス停やバス停から目的地までの徒歩移動が少なく済み、身体への負担が少ない移動手段である。
- 利用料金も通常のタクシー運賃より安価で、経済的な負担も軽減できる。
- このデマンド（予約）型乗合タクシーには決まった路線はなく、予約した人の家だけを最短距離で移動するため、予約がなければ運行せず効率的であるほか、地域を面でカバーするため広い範囲の利用者に対応することができ、前述の公共交通空白地域の解消にもつながる。
- 近年、高齢者の自動車事故の多発傾向を受け、運転免許証の自主返納の動きがみられるが、これらの人の免許返納後の移動手段の確保が課題となっており、デマンド（予約）型乗合タクシーはこれに一定の役割を果たすものと考えられる。

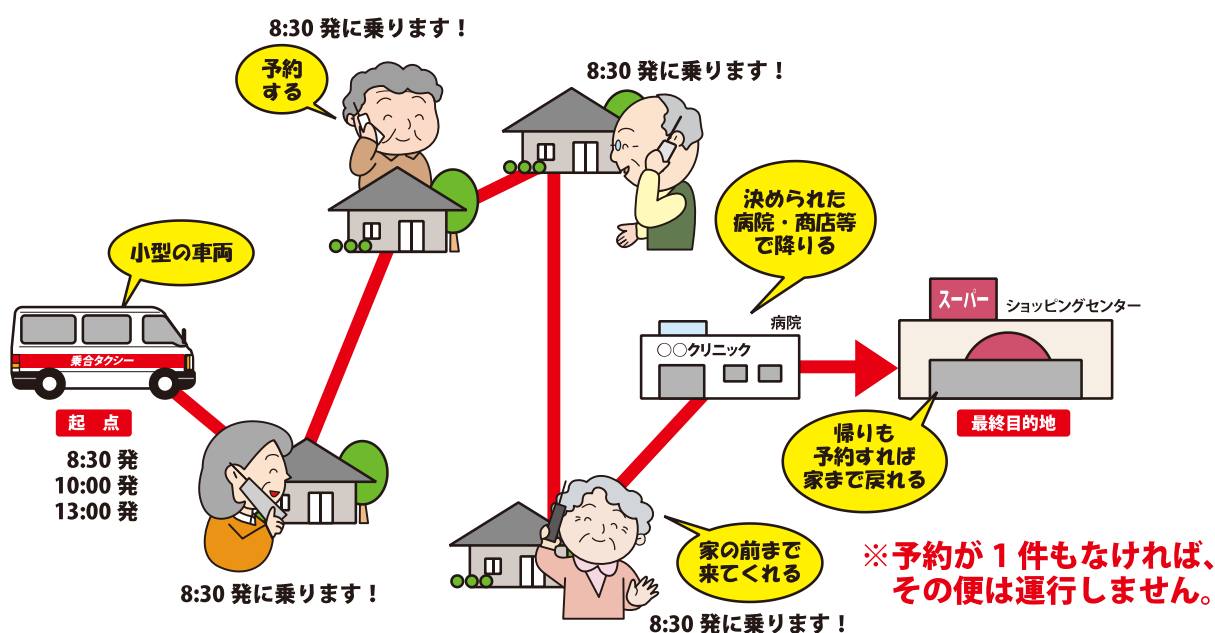


図 3 デマンド型乗合タクシーの運行イメージ図

(3)バス運行の効率化

○せとうち周桑バスの平成 29 年度（平成 28 年 10 月～平成 29 年 9 月）の利用状況は【表 2】のとおりで、収支率（経常収益÷経常費用）は壬生川線（周桑営業所～周桑病院～湯谷口）を除いて 20%以下となっている。

○100 円の収入を得るために係る費用を示す営業係数（経常費用÷経常収益×100）はいずれも 100 を超えており、これらの路線の欠損額を補てんする市の補助金は合計で年間 53,110 千円程度になっている。これを年間輸送人員 1 人当りに換算すると、全路線平均で 1,796 円になる。

○近年、年間輸送人員も減少化傾向にあり、今後欠損額はさらに拡大する可能性があることから、バス路線の効率的な運行が求められている。

表 2 セとうち周桑バス路線の利用状況（平成 29 年度）

運行系統名		年間輸送人員 (人)	収支率	営業係数	市補助金 (千円)	輸送人員 1人当り補助金 (円)
三芳線	周桑営-三芳駅-本谷温泉	2,918	8.4%	1,196	9,903	3,394
関屋線	周桑営-関屋-湯谷口	4,950	19.2%	520	7,839	1,584
保井野線	湯谷口-落合-保井野	141	6.5%	1,545	749	5,312
	周桑営-湯谷口-保井野	3,328	6.5%	1,545	13,646	4,100
壬生川線	周桑営-丹原上町-湯谷口	5,568	16.1%	622	10,584	1,901
	周桑営-周桑病院-湯谷口	6,650	41.4%	242	2,677	403
湯谷口線	小松総合支所前-大頭-湯谷口	5,644	16.0%	627	7,235	1,282
	小松総合支所前-オアシス-小松総合支所前	373	15.9%	627	477	1,279
合計		29,572	14.2%	706	53,110	1,796

※注）年間輸送人員は運賃収入から算出した輸送人員であり、実際の利用者数とは異なる。

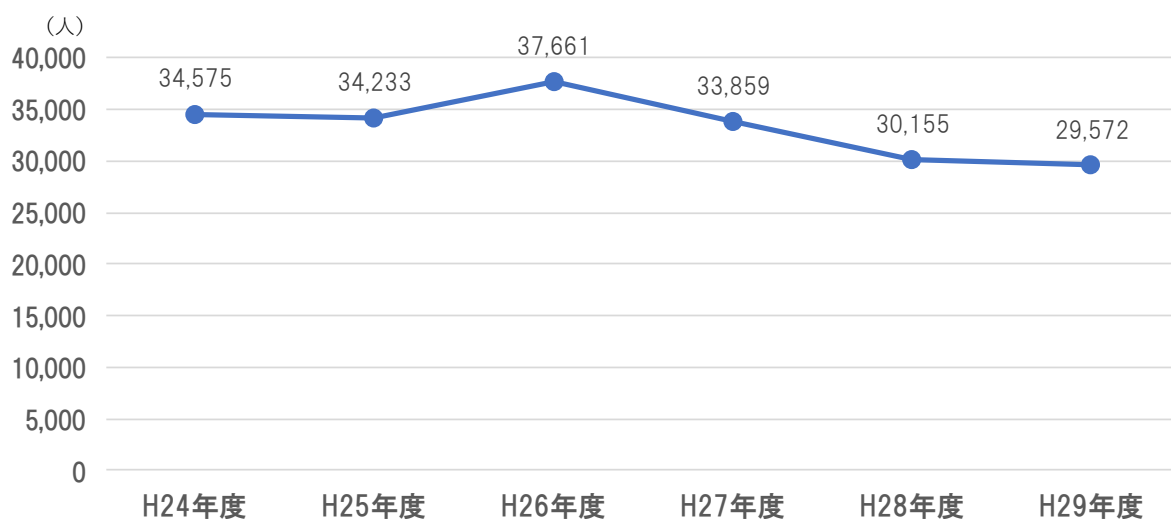


図 4 セとうち周桑バス 年間輸送人員の推移

○以上のような状況を踏まえ、丹原地域へのデマンド（予約）型乗合タクシーの導入について、次のように検討する。

3. デマンド型乗合タクシー導入のプロセス

(1)実証運行【平成31年2月～】

- 週2日、曜日を限定しデマンド型乗合タクシーの実証運行を行う。
- 路線バスは従来通りの運行を行う。
- 住民と行政等が協働でデマンド型乗合タクシーの運行計画を再考する。
- 路線バスの運行ルート等の再編を検討する。

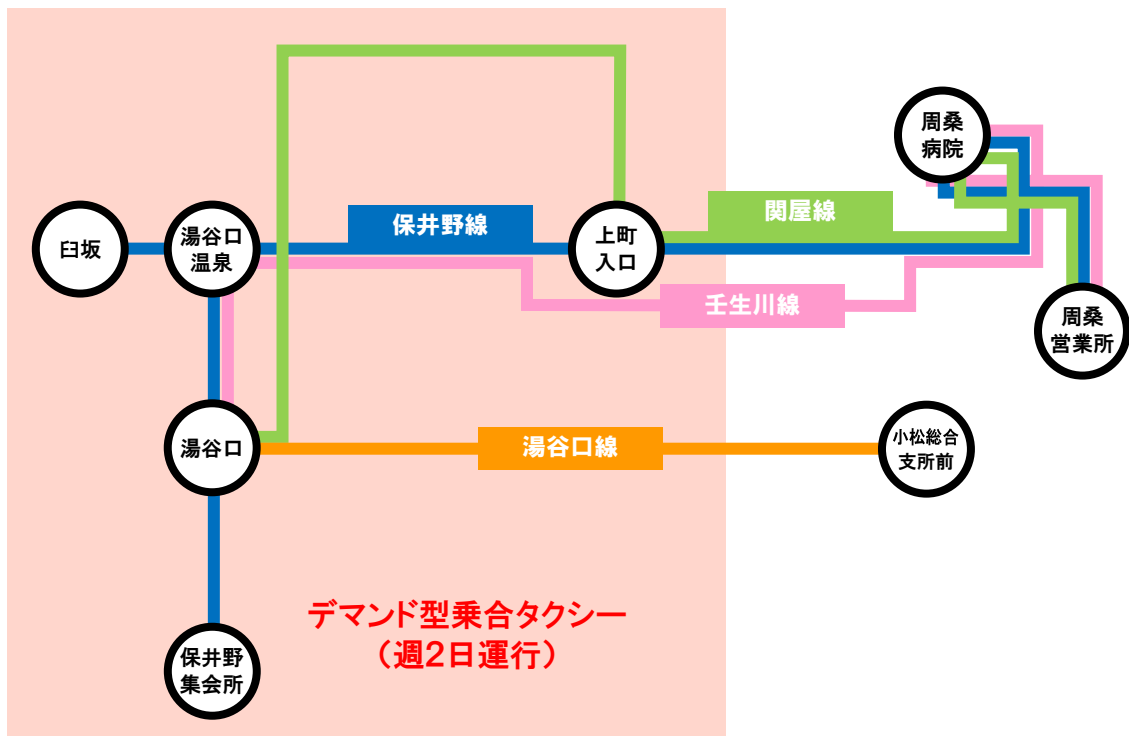


図5 実証運行期間中のバス路線（現状通りの運行）

(2)本格運行【実証運行終了後～】

- 実証運行での検証を基に最適な便数での運行とする。
- 路線バス保井野線の湯谷口～保井野集会所間及び湯谷口温泉～臼坂間、関屋線の上町入口～湯谷口間を再編する。
- 実証運行に引き続き路線バスの運行ルート等の再編を検討する。
- デマンド型乗合タクシーを導入することで、外出機会の創出に繋げるとともに、外出地等での路線バスの利用促進を図る。

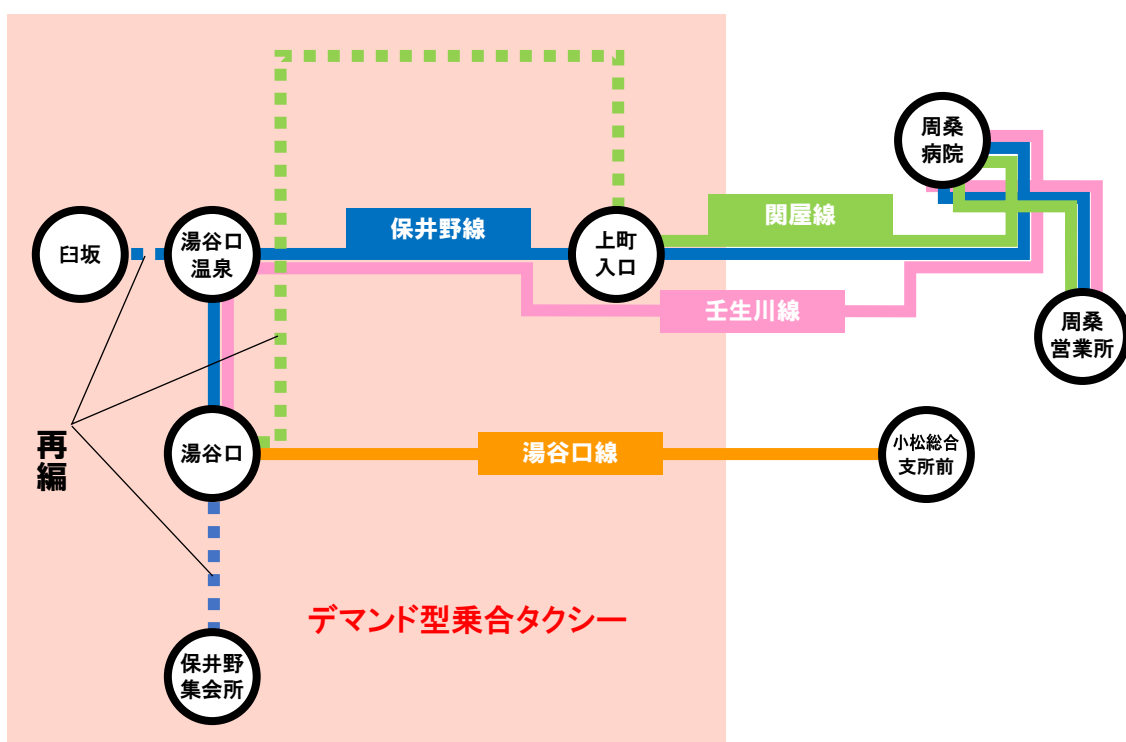


図 6 本格運行後のバス路線（保井野線・関屋線の一部を再編）

4. 住民説明会等での意見

○デマンド型乗合タクシーの一般的な概要について、各地区の自治会長と山間部の自治会に説明を行った。その際、下表のような意見が出され、潜在的な需要が認められた。

- ・今までバスが使いつらかった地域から、導入を期待する意見がみられる。
- ・自宅（近く）まで来てくれることに対しメリットを感じている。
- ・最初は小さく始めて、状況に応じて拡大するといった意見もみられた。

また、幹線までデマンド型乗合タクシーを使い、そこからバスを利用することができる。などの意見もあり、デマンド型乗合タクシーと路線バス両方の利活用について検討する必要がある。

表 3 地区単位の説明会での主な意見【実施日：H30年6月29日（金）】

No	地区	主な意見
1	中川地区	○月5～6人は3冊程度いきいきバス券を購入。バス利用もある。 ○介護が必要な利用者等について、乗合タクシー乗務員のサービス水準をある程度確保する必要がある。
2	桜樹地区	○千原の生活圏は東温市川内地区で、特急バス（松山～新居浜）を利用しているので、せとうちバスの割引券を出してはどうか。（市外への移動に対する助成は難しい） ○桜樹公民館（郵便局）も乗降ポイントとして検討して欲しい。 ○運賃が500円の場合、現在のバス運賃より割高になる区間がある。 ○デマンドタクシーの必要性については住民全体に聞いて欲しい。 ○路線バスが走っていないところへの導入を優先すべき。
3	田野地区	○料金を一律にすると不公平感がある。距離制（ゾーン制）運賃も検討すべき。 ○路線バス運行への配慮も必要ではないか。運行をせとうち周桑バスにしようか。（せとうち周桑バスは小型車両を持たない） ○路線バス、デマンドタクシー両方に補助金を払うのはどうかと思う。 ○競争を避けるため、バスの運行空白時間での運行も検討すべきではないか。 ○バスの利用が難しい人へのタクシー助成を充実させた方が安く済むのではないか。 ○免許返納者へのタクシー助成も検討してもらいたい。 ○バス路線の沿線住民はバスを使い、離れた地域をデマンドの対象にしてはどうか。
4	徳田地区	○きめ細かい計画でないと利用したいと思わない。自家用車の代わりになるような便利さが必要である。 ○利益が見込めない事業なら、タクシー事業者への委託ではなく、市でやる方がいいのではないか。 ○予算を考えていたらいい事業はできない。免許返納者は運賃を無料にするなどの配慮が必要ではないか。 ○小さい区域から始める方がいいと思う。持続可能な計画を考えていただきたい。 ○必要なところとそうでないところがある。地区を絞って継続できるところで運行するほうがよい。
5	丹原地区	○運賃が500円だと往復で1,000円かかり、年金暮らしの人には負担が大きい。 ○丹原全域は広いので、もう少し範囲を限定した地域単位での利用も検討してはどうか。 ○高齢者は複数の病院に通院する場合がある。それらの利用についても時間的な配慮をして欲しい。（便数が多く必要） ○路線バスのPRが不足しているのではないか。バスの運行を知らない高齢者もいる。 ○いきいきバスとデマンドタクシーの方向性はどのようになるのか。（バス路線の再編とバスを補完する役割としてデマンドタクシーを導入） ○路線バスへの接続というデマンド運行はどうか。バス利用の促進にもなる。（高齢者には乗り換えが不便） ○高齢者の手押し車は2台でトランクがいっぱいになる。車両の大きさについても配慮が必要。 ○実際に2～3回試験運行を行ってみることもPRになる。 ○乗合タクシーの場合、全く知らない人と同乗することに抵抗を持つ人もいる。

表 4 山間部自治会の説明会での主な意見

自治会名	開催日時	主な意見
臼坂	H30年 7月12日 20:30～	<ul style="list-style-type: none"> ○バス停から離れた人はバスが使いづらい。臼坂バス停より上の住民はデマンド導入により便利になる。 ○バス路線沿線は路線バスの方がいいと思うが、全体的に見ればデマンドを導入したほうがよいのではないかな。 ○予定が狂った場合、帰宅便に乗れるか心配になる。 ○桜樹地区は谷があるためデマンドの所要時間がかかる。 ○臼坂からバスを利用している人は5～6人程度。 ○路線バスの幹線までデマンドで出れば、そこからは路線バスが利用できるのではないかな。その方がバス利用促進にもつながる。 ○地域住民主体による交通空白地有償運送は、事故の心配が負担となるので難しい。 ○バスの利用は病院への移動が主で、週1回程度。 ○買物はJAの移動販売を利用している人もいる。柳曾まで来ている。 ○デマンド利用者は少ないと思われるが、あると安心する。市としても利用した場合のみ費用がかかる方式がいいのではないかな。 ○電話予約方法の説明、利用に関する周知をどうするのか。高齢者には理解が難しいのではないかな。 ○運行は週何日、1日何便と限られるが、自宅まで来てくれるので便利になるのではないかな。 ○試してみないとわからない。実証運行中に路線の再編も検討するので、デマンドを実施する方向でいってはどうかな。 ○路線バスの幹線をどこまで残すのか。廃止、減便によるバス事業者の雇用への影響にも関係してくる。 ○車両はどこまで来てくれるのか。(進入・展開等ができる場所までとなる。)
楠窪	H30年 7月17日 13:00～	<ul style="list-style-type: none"> ○H28年度にデマンド型乗合タクシーの試験運行を行ったが、その時は月2回の運行で使いにくかった。現段階では利用者1人だけだと思われる。 ○予約が必要で運行時刻も決まっているため、診察・調剤の時間がかかった場合、帰りの運行時間に間に合うか不安がある。 ○乗り合うことに抵抗を感じる人があるのではないかな。 ○行先として「松田循環器科」「周桑病院」「周ちゃん広場」「とうしょく」「木村チェーン」などが考えられる。 ○親族で送迎を頼むなど、自身で交通手段を確保している人もいる。 ○済生会西条病院にかかる場合は湯谷口まで出て、そこからバスを利用している。 ○曜日と時間の決まった便数の少ないデマンドタクシーでは利用できない。 ○運行時間のしぼりのないタクシー助成が使いやすい。 ○利用する人数も少ないので、タクシー助成の充実を考えた方がいいのではないかな。 ○経費削減を考慮するなら、楠窪⇄湯谷口のデマンド運行でバスへの接続を考えてもいいのではないかな。 ○楠窪は10世帯16人であり、中にはタクシーを一人で利用できない人もいる。 ○タクシー助成を楠窪に試験的に導入してみてもどうか。 ○湯谷口までのタクシー助成ではどうか。 ○現在のタクシー助成が周知できておらず、知らない人が多い。 ○以前路線バスを利用していた人が利用しやすいものをお願いしたい。
千原	H30年 7月18日 9:30～	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者は電話が聞こえにくく、予約等が難しい。 ○道が狭隘なため、小型タクシーなら上がれるが、ジャンボタクシーでは難しい。 ○利用する人がいない、利用したい時間があわない、広範囲の人を送迎することになるので運行は難しいのではないかな。 ○松山方面の病院利用者3人・買物4人、西条方面の病院・買物2人。 ○週1回の買物、3カ月に1回の通院を娘に送迎してもらっている。 ○バス停の待合環境の整備をしてもらいたい。 ○バスの乗降の際、段差があるので高齢者は利用しにくい。 ○桜樹・中川・田野公民館への移動にも使えるようにしてもらいたい。 ○いらぬとは言わない。免許を持っていても使いたい気持ちはある。

自治会名	開催日時	主な意見
鞍瀬	H30年 7月20日 13:00～	<ul style="list-style-type: none"> ○バスは空でも走るがデマンドタクシーは予約があるときだけ運行するので、市の財政負担は少なくなるのではないか。 ○料金が一律だと不公平感が出てくるのではないか。 ○丹原は運行範囲が広いので、運賃設定の際距離によって差を付けることも必要ではないか。 ○高齢化が進んでいくと足も悪くなる。家の前まで来てくれるのは非常にありがたい。運転免許返納促進にもつながる。 ○携帯電話等を持っていない人に外出先から帰りの便を予約するのは難しい。(お出かけ便の予約時に同時予約可能) ○いきいきバス制度で運賃が1/3の負担となり助かっているが、デマンドの運賃はバスより高くなり、年金生活者にとっては負担が大きい。 ○買物では「ヤマサンセンター」や「周ちゃん広場」を利用する。 ○デマンドは予約が必要となるため、急な用事に間に合わない。バスは予約なしで利用できる所以急ぎの時でも利用できる。 ○皆の意見を聞きながら、一番いい方法を考えて欲しい。 ○歯医者には週に数回、買物には月2回程度バスを利用している。 ○週に1回、JAの移動販売を利用している。いきいきバスが100円の時バス利用も多かった。 ○乗車予定時間を知らせる親切も必要。 ○病院の予約をしてもデマンド予約が定員オーバーなら病院に行けなくなる。
明河 (成集会所)	H30年 7月25日 9:30～	<ul style="list-style-type: none"> ○バスを利用しない日も多い。いきいきバス制度により100円でバスが利用できた頃は利用も多かった。 ○せとうち周桑バス保井野線が1日4往復はもったいない気もする。 ○利用者が少ないので路線バスは小型車両でよい。 ○路線バスの利用者は4～5人程度である。 ○病院等に公衆電話がなく、急なキャンセルに対応できない。帰宅便に間に合わなくなるのではとの不安がある。 ○積雪時に運行できるか不安である。 ○運行曜日を減らしてもバスを残して欲しい人もいるかもしれない。 ○デマンドの運賃が一律となると、不平等な感じもある。 ○運行エリアによっては時間がかかりすぎる。 ○湯谷口で乗り換えるときの接続を良くして欲しい。 ○タクシー助成は湯谷口までのバス代と同じ程度の助成でよいのではないか。 ○堂ヶ森の登山者はどうすればよいのか。 ○出席者の考え方(タクシー助成1人、路線バスの継続2人、デマンド運行1人)
明河 (保井野集会所)	H30年 7月25日 11:00～	<ul style="list-style-type: none"> ○病院の早い予約等に対応した、利用しやすいダイヤ設定にして欲しい。 ○バス利用頻度(通院回数:1カ月1回、3週間に1回、3カ月に1回) ○便数を減らしても路線バスの運行をして欲しい。(月・水・金の運行、朝昼晩1日3往復等) ○決まった時刻に来るバスが使いやすい。(ほとんどがバス路線沿線に居住) ○免許返納割引やいきいきバス制度を利用するとかなり運賃が安くなる。 ○デマンドについても免許返納者等への割引はあるのか。(要検討) ○予約忘れ、電話予約への抵抗感、予約締切時刻等、デマンド予約への不安がある。 ○いきいきバスの乗車券を5～10冊購入しているが、路線バスが廃止になると使えなくなるのか。

5. 実証運行計画案

(1) 運行概要

① 運行日

○実証運行期間中は週2回の運行とする。

○2回の運行日は、周桑病院の外来診療科が多い火・水とする。

表 5 西条市立周桑病院外来診療科一覧表

科 別		受付時間	診療開始時間	月	火	水	木	金	備 考	
内 科	1 診	午前	7:30～11:00	8:30	酒井郁也 (初診)	矢野春海 (初診)	藤澤友樹 (初診)	矢野春海	藤澤友樹	※ 三宅(第4火曜)
	2 診	午前	7:30～11:00	8:30	中原弘雅	中原弘雅	矢野春海	藤澤友樹	矢野春海	
	3 診	午前	7:30～11:00	8:30	八木専 (初診)	※三宅映己	竹下英次 (初診)	中原弘雅 (初診)	谷本一史 (初診)	
	4 診	午前	7:30～11:00	8:30						
		午後	13:00～15:30	13:30	酒井郁也	矢野春海	竹下英次	中原弘雅	谷本一史	
					八木専	※三宅映己 (予約のみ)		八木専		
循環器内科	4 診	午前	7:30～11:00	9:00			永井啓行			
		午後				検査				
検 査	胃透視・注腸				担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
	内視鏡				矢野春海	藤澤友樹	中原弘雅	担当医	雁木・中原	
	腹部エコー				担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
外科系	1 診	7:30～11:00	8:30	雁木淳一	雁木淳一	大野靖彦	雁木淳一	大野靖彦	※ 禁野外来(水・金 完全予約制)	
外科系	中央処置室	13:00～15:30	13:30	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	※ 急患担当	
脳神経外科	午 前	7:30～11:00	8:30	岡部恭典	岡部恭典	岡部恭典	岡部恭典	岡部恭典		
	午 後			手術・検査	手術・検査	手術・検査	手術・検査	手術・検査		
産婦人科	午 前	7:30～11:00	9:00	※日野有紀	宇佐美知香		日野有紀		※ 日野(第1・2・4月曜)	
眼 科	1 診	午前	7:30～11:00	8:30	小林 瑞	検査・処置	小林 瑞	小林 瑞	小林 瑞	
		午後			検査・処置		検査・処置	検査・処置	検査・処置	
	2 診	午前	7:30～11:00	9:00			担当医 (愛大)			
泌尿器科	午 前	7:30～11:00	8:30	越智淳三	越智淳三	越智淳三	越智淳三	越智淳三		
整形外科	午 前	7:30～11:00	8:30	奥田俊介	奥田俊介	山内 隆	奥田俊介	奥田俊介	※ 奥田医師の外来診療は完全予約制	
	午 後			手術・検査	手術・検査	検査	手術・検査	手術・検査		
放射線科	画像診断			八木 大	八木 大	八木 大	八木 大	八木 大		
皮膚科	午 前	7:30～11:00	9:00		武藤 潤 宇都宮 亮				武藤(第1・第3・第5)宇都宮(第2・第4)	
形成外科	午 後	12:30～14:45	13:00	中岡啓喜 木村千寿					毎週月曜日の午後(愛大) 中岡(第1・第3・第5)木村(第2・第4)	
人間ドック 健診業務	1 日 1泊2日	予約制		大野靖彦	和家知子	和家知子	大野靖彦	担当医		

②運行エリア

○運行エリアは火曜日と水曜日で運行範囲を変え、以下のように設定する。

- 楠窪線運行日：楠窪線（楠窪⇔湯谷口⇔市街地）・保井野線（保井野⇔臼坂⇔関屋⇔市街地）
- 千原線運行日：千原線（千原⇔臼坂⇔関屋⇔市街地）保井野線（保井野⇔湯谷口⇔市街地）

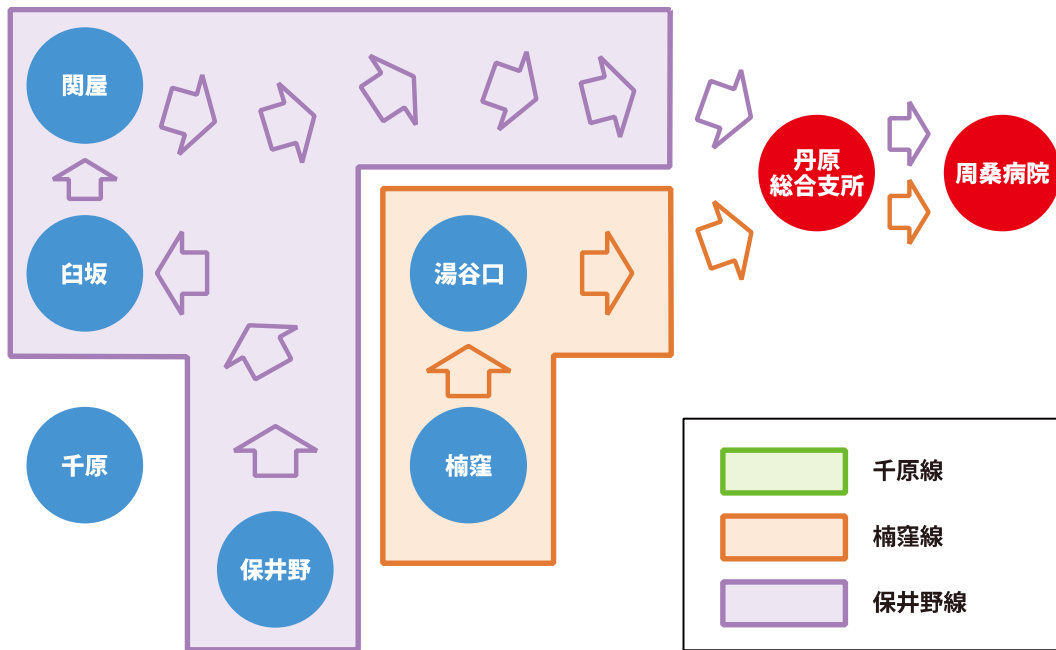


図 7 楠窪線運行日のイメージ

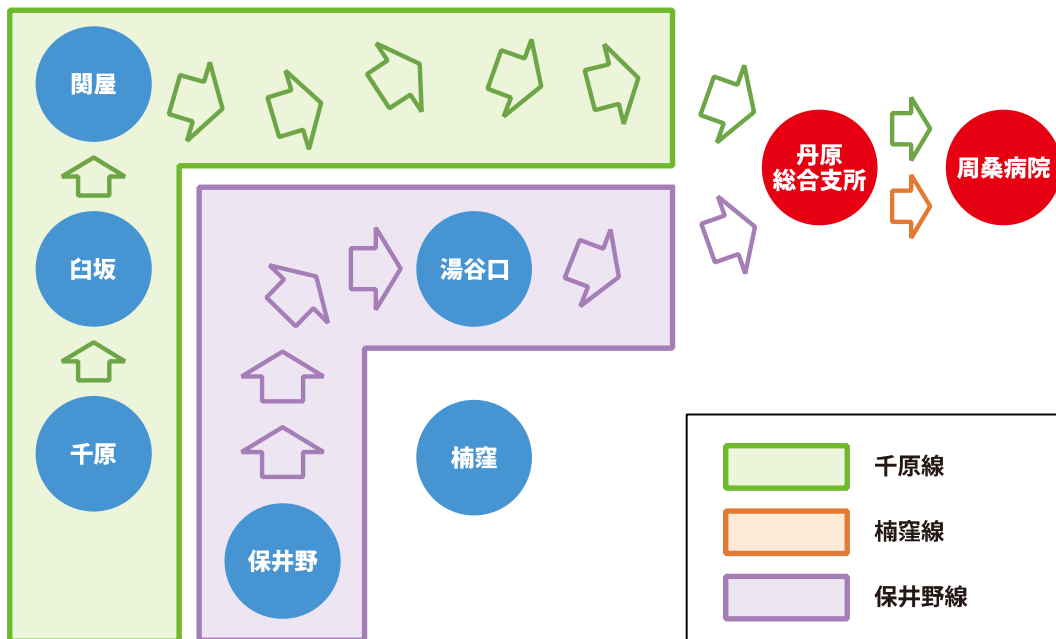


図 8 千原線運行日のイメージ

楠窪線運行日

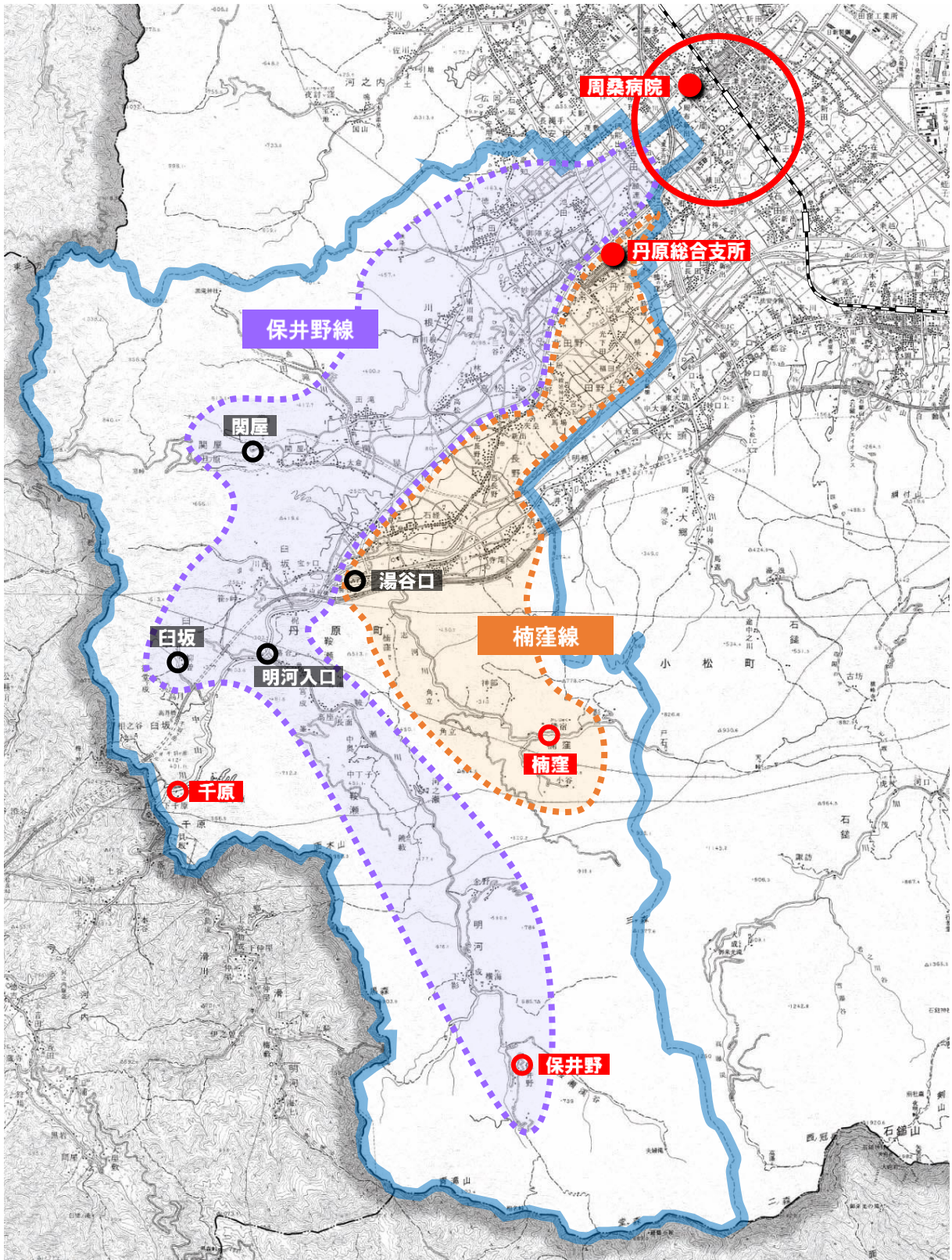


図 9 楠窪線運行日の運行区域

千原線運行日

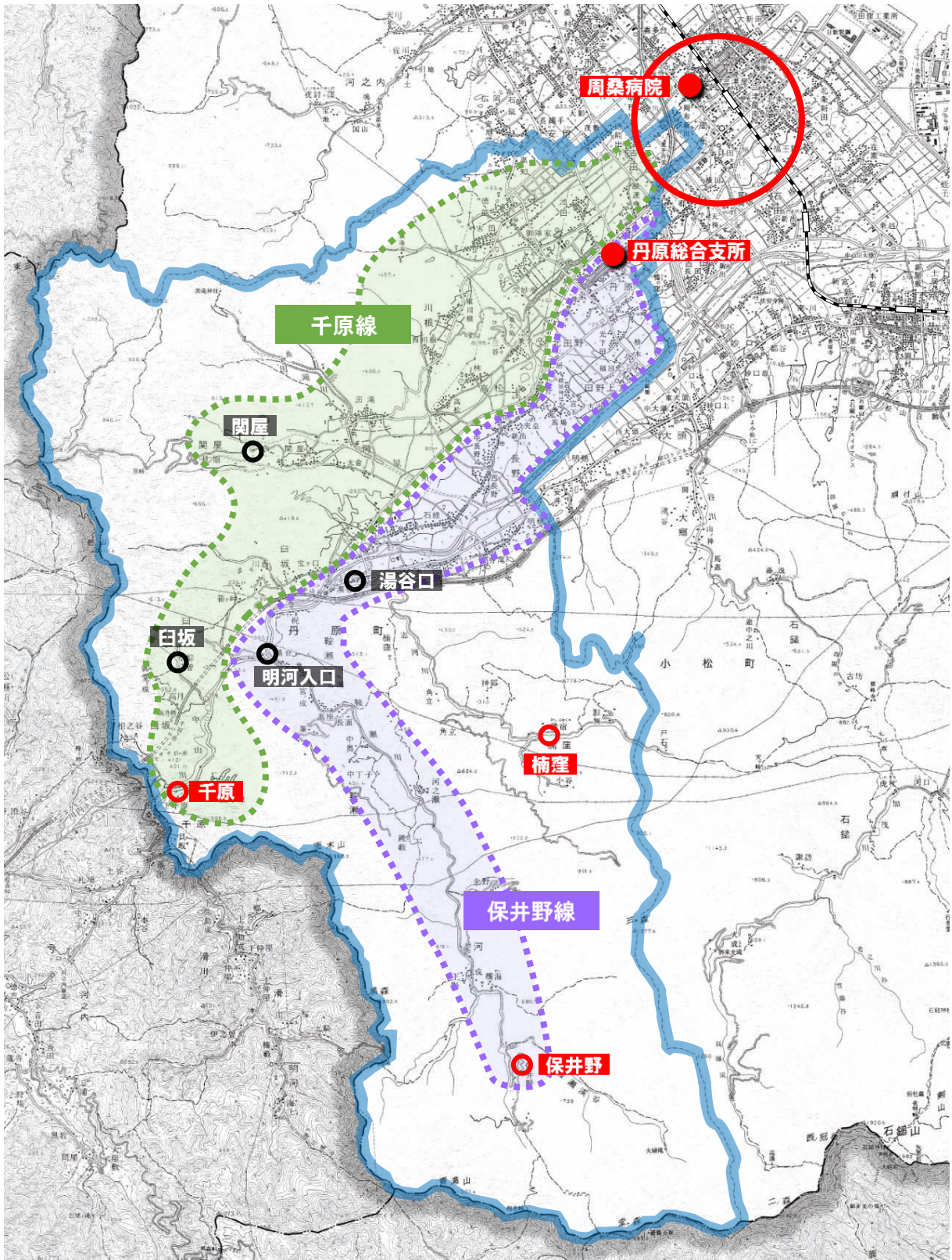


図 10 千原線運行日の運行区域

③運行ダイヤ

- 実証運行段階では、午前中の「上り」「下り」各1便、午後の「上り」「下り」各1便の計2往復4便/日を設定する。
- 周桑病院の受付時間を考慮し、「上り」は8:30と14:30に周桑病院に到着する便を設定し、「下り」は11:30と16:30に周桑病院を出発する便を設定する。
- 「上り」の表示時刻については、出発時刻ではなく周桑病院への到着時刻を表示して到着時刻を保証する。その時刻から逆算して予約者の家に迎えに行く時刻の目安を運行事業者から予約者へ個別に連絡する。
- 「下り」の表示時刻は、周桑病院出発時刻とする。

表 6 実証運行時のダイヤ案（楠窪線運行日）

楠窪線(楠窪⇔湯谷口⇔周桑病院)				
上り(お出かけ)便	到着時刻		下り(帰宅)便	出発時刻
楠窪⇒周桑病院	8:30	14:30	周桑病院⇒楠窪	11:30 16:30
保井野線(保井野⇔臼坂⇔関屋⇔周桑病院)				
上り(お出かけ)便	到着時刻		下り(帰宅)便	出発時刻
保井野⇒周桑病院	8:30	14:30	周桑病院⇒保井野	11:30 16:30

表 7 実証運行時のダイヤ案（千原線運行日）

千原線(千原⇔臼坂⇔関屋⇔周桑病院)				
上り(お出かけ)便	到着時刻		下り(帰宅)便	出発時刻
千原⇒周桑病院	8:30	14:30	周桑病院⇒千原	11:30 16:30
保井野線(保井野⇔湯谷口⇔周桑病院)				
上り(お出かけ)便	到着時刻		下り(帰宅)便	出発時刻
保井野⇒周桑病院	8:30	14:30	周桑病院⇒保井野	11:30 16:30

表 8 デマンド運行想定所要時間

運行日	想定運行ルート	想定所要時間(分)
楠窪線運行日	楠窪線(楠窪⇒湯谷口⇒周桑病院)	62
	保井野線(保井野集会所⇒臼坂⇒関屋⇒周桑病院)	90
千原線運行日	千原線(千原集会所⇒臼坂⇒関屋⇒周桑病院)	84
	保井野線(保井野集会所⇒湯谷口⇒周桑病院)	72

楠窪線運行日

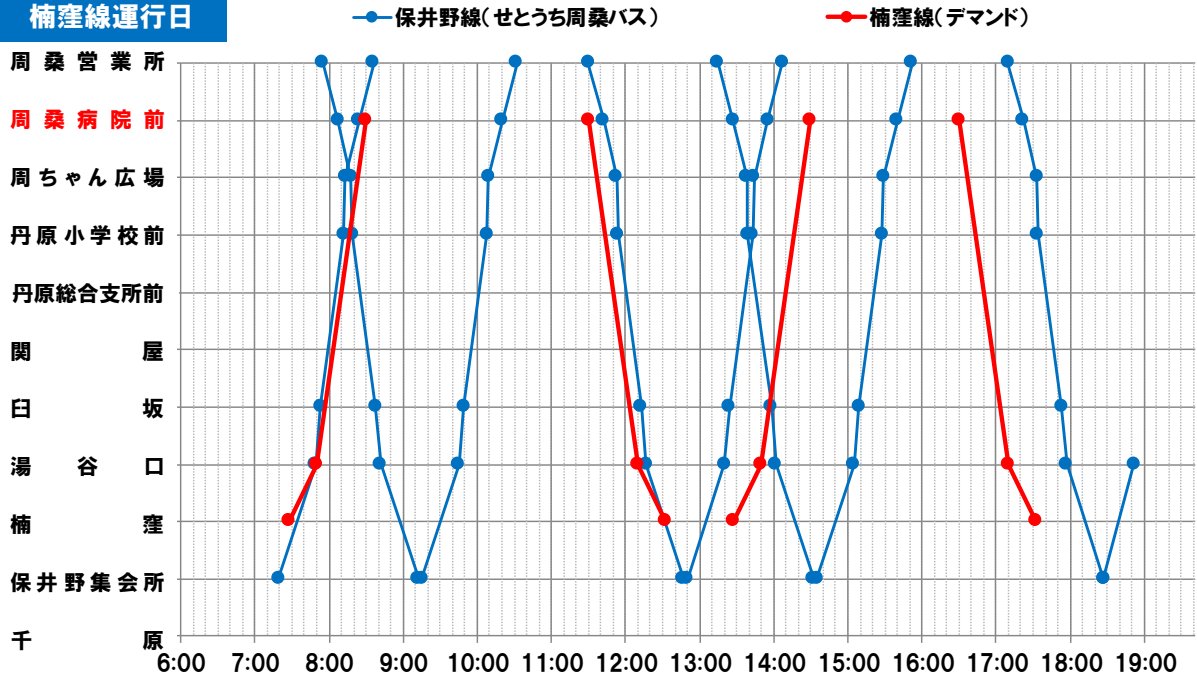


図 11 【楠窪線運行日】保井野線(せとうち周桑バス)ダイヤと楠窪線(デマンド)ダイヤ

楠窪線運行日

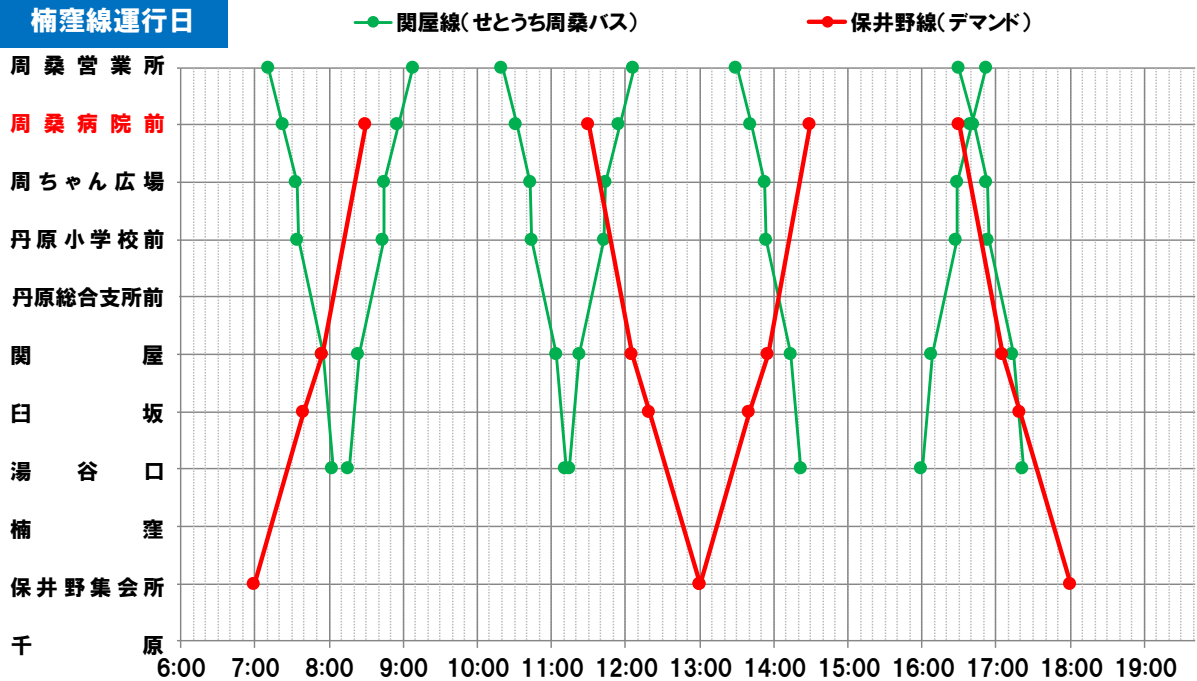


図 12 【楠窪線運行日】関屋線(せとうち周桑バス)ダイヤと保井野線(デマンド)ダイヤ

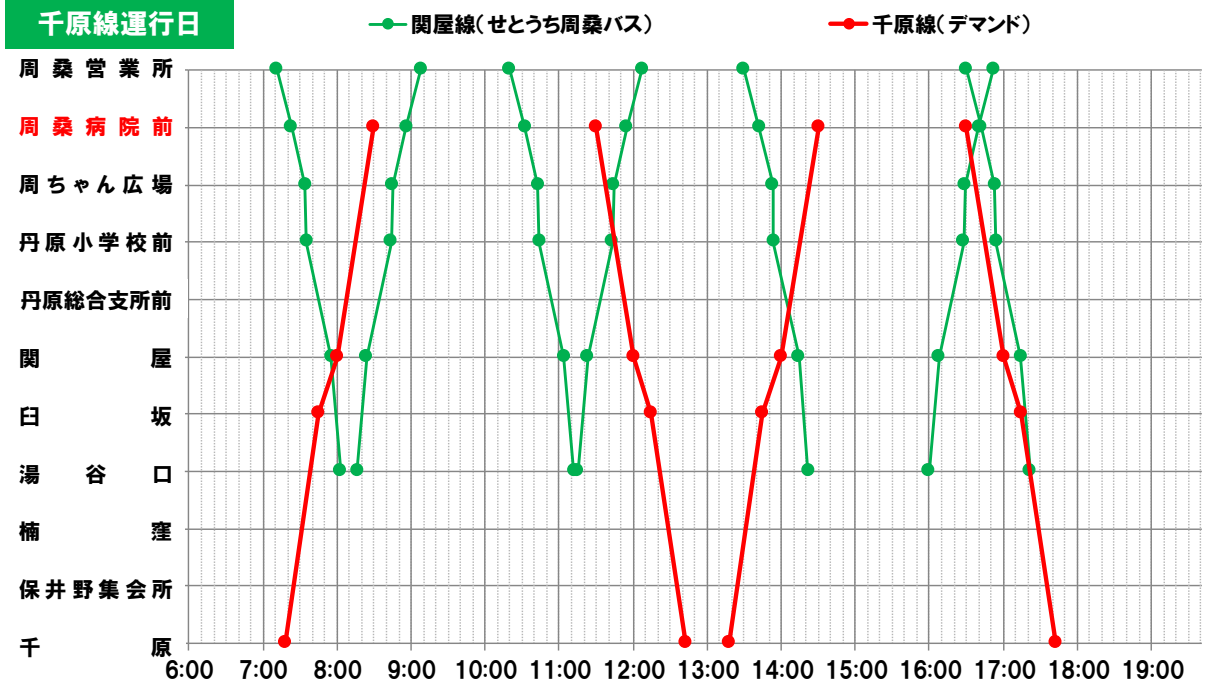


図 13 【千原線運行日】関屋線(せとうち周桑バス)ダイヤと千原線(デマンド)ダイヤ

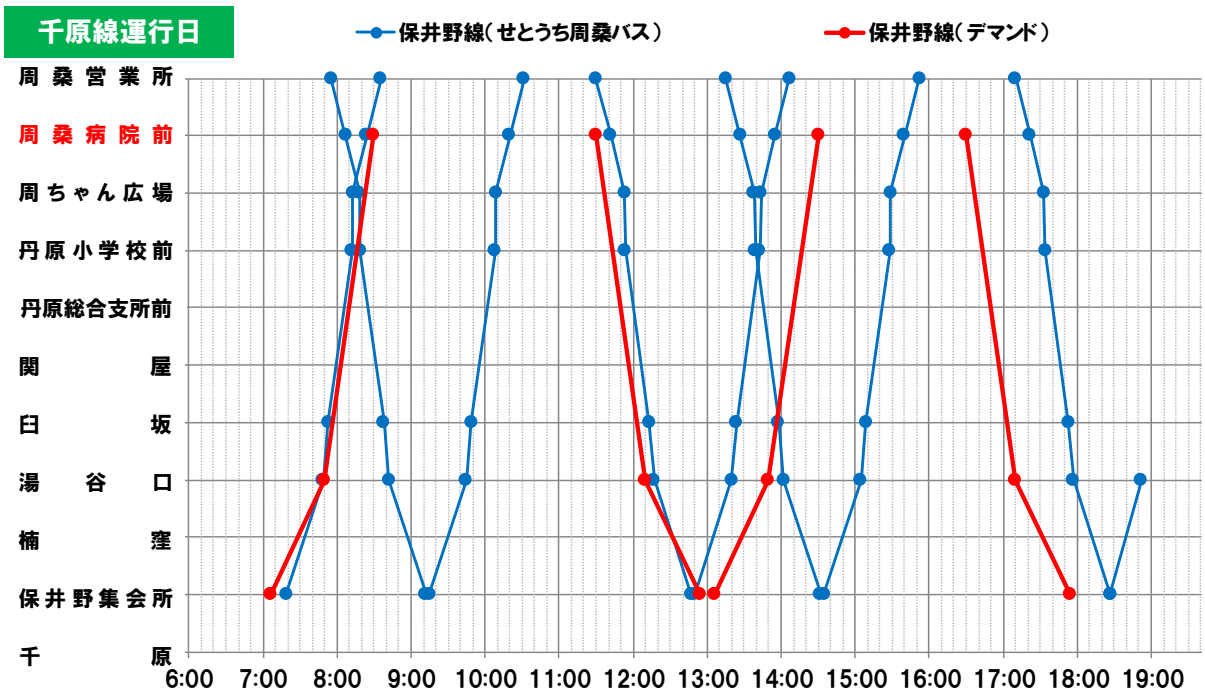


図 14 【千原線運行日】保井野線(せとうち周桑バス)ダイヤと保井野線(デマンド)ダイヤ

楠窪線運行日

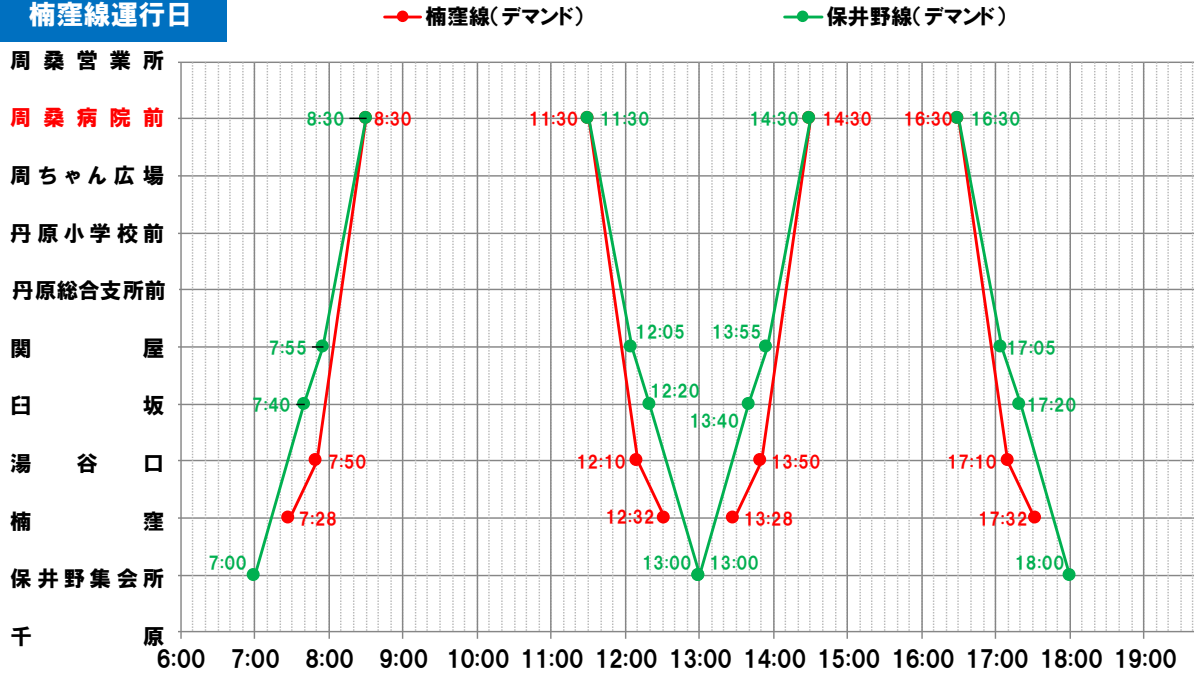


図 15 【楠窪線運行日】デマンド山ダイヤ

千原線運行日

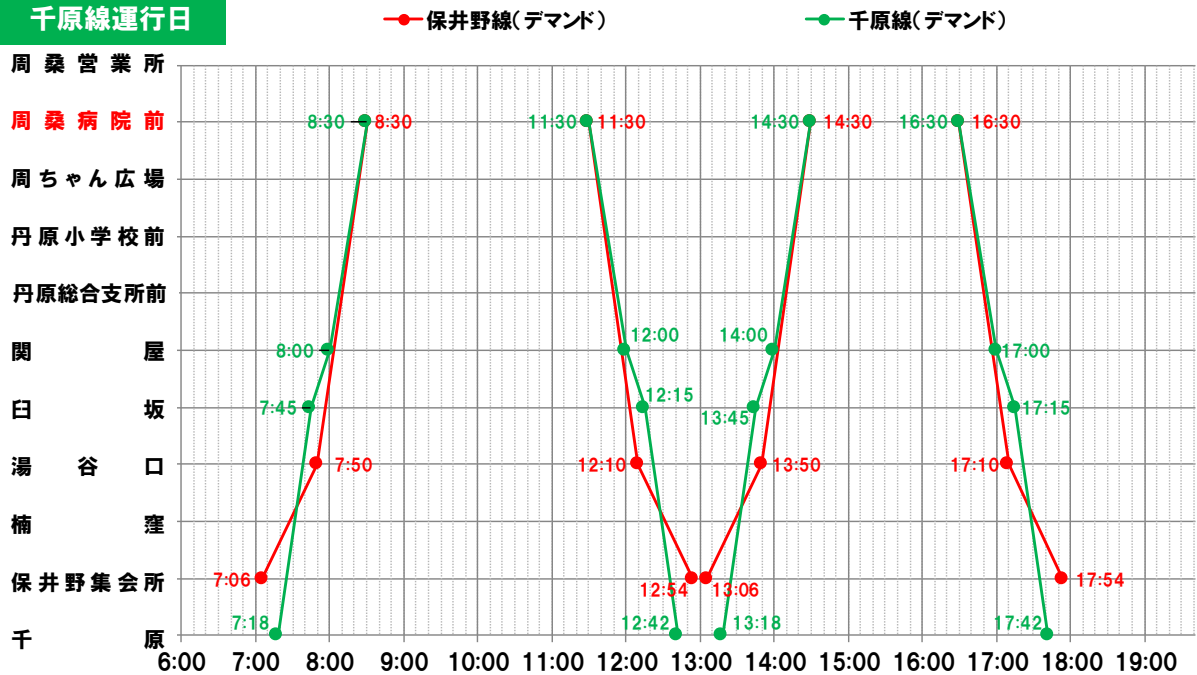


図 16 【千原線運行日】デマンド山ダイヤ

④運賃

【路線バスの運賃】

- 周桑病院前までの既存バス運賃は下表のとおりとなるが、西条市のいきいきバス制度では3,000円分の乗車券を1,000円で販売しているため、実質的には1/3の金額でバスが利用できる。
- いきいきバス制度を利用した場合、保井野集会所～周桑病院前間の実質的な運賃は340円となる。

表 9 周桑病院前までの既存バス運賃といきいきバス運賃

バス停名	運賃	いきいきバス 運賃の目安 (1/3の金額)
保井野集会所	1,020	340
保井野	970	323
明河入口	740	247
湯谷口	640	213
臼坂	640	213

【デマンド型乗合タクシーの運賃】

- 加茂地区の「よりそいタクシー」の運賃や近隣市の運賃を勘案し、実証運行開始時は「1乗車大人(中学生以上)500円、小人(小学生以下)250円(未就学児は大人(保護者)1人につき1人無料)」と設定する。これは、自宅付近まで送迎する利便性の高さなどを考慮し、バスよりは高くタクシーよりは安いという考え方によるものである。

⑤車両サイズ

- 予約者数に応じた車両を選択することとし、ジャンボタクシー・中型車両等で対応する。
- 使用車両台数については、予約者数や送迎場所に応じて柔軟に対応するものとする。

⑥利用対象者と事前登録

- このデマンド型乗合タクシーの利用対象者は、丹原地域に居住する住民とする。
- 利用に際しては、自宅までのスムーズな送迎を実現するため、事前登録をするものとする。

⑦予約期限

- 午前のお出かけ便については、前日の16:00までに運行事業者に予約するものとする。
- 午後のお出かけ便については、当日到着時刻の3時間前までに予約するものとする。
- 帰宅便については、当日出発時刻の1時間前までに予約するものとする。お出かけ便の予約の際、帰宅便を同時に予約することもできる。
- 予約は1週間前から受け付けるものとする。

(2)乗降ポイント案

- 居住地側での乗降はドア・トゥ・ドアの観点から自宅もしくは自宅近くとなるが、中心市街地においては通常のタクシーとの差別化を図るため、住民ニーズの高い目的地の周辺に乗降ポイントを設定し、このポイントのみで乗降可能とする。
- 平成 28 年度に公共交通空白地域を対象に行ったアンケート調査結果から丹原地域の結果を抜き出すと、普段行く医療機関としては「西条市立周桑病院」「中村内科胃腸科」「済生会今治病院」等が挙がっており、商業施設としては「ヤマサンセンター丹原店」「マルナカ東予店」「フジ東予店」等が上位に挙がっている。
- 平成 28 年度に保井野線沿線の住民を対象に行ったアンケート調査結果では、普段行く医療機関としては「西条市立周桑病院」「今井クリニック整形外科」「愛媛大学医学部付属病院」等が、商業施設としては「ヤマサンセンター丹原店」「木村チェーン」「周ちゃん広場」などが挙がっている。

■公共交通空白地域住民アンケート調査結果(丹原地域:H28 年度)

【医療機関】

普段行く医療機関	
施設名	回答数
西条市立周桑病院	9
中村内科胃腸科	3
済生会今治病院	2
その他	17
計	31
N= 14	

バスで行けるといいと思う医療機関	
施設名	回答数
西条中央病院	2
西条市立周桑病院	2
愛媛大学医学部附属病院	1
渡部病院	1
済生会今治病院	1
田中内科	1
くしべ整形外科	1
共立病院	1
計	10
N= 6	

【商業施設】

普段よく行く商業施設	
施設名	回答数
マルナカ 東予店	6
フジ 東予店	6
ヤマサンセンター 丹原店	5
フジ 西条玉津店	2
コスモス 丹原店	2
とうしょく 丹原店	2
木村チェーン 丹原店	2
その他	9
計	34
N= 13	

バスで行けるといいと思う商業施設	
施設名	回答数
ヤマサンセンター 丹原店	3
マルナカ	2
コスモス 丹原店	2
イオン今治	2
フジ 東予店	1
とうしょく 丹原店	1
コメリ	1
タオル美術館	1
ディオ 東予店	1
フジグラン 西条	1
ユニクロ(今治)	1
計	16
N= 7	

■保井野線沿線住民アンケート調査結果(千原、臼坂、鞍瀬、明河地区:H28年度)

【医療機関】

普段行く医療機関	
施設名	回答数
西条市立周桑病院	13
今井クリニック整形外科	9
愛媛大学医学部附属病院	7
徳永歯科	4
河野内科	3
山本眼科	3
渡部病院	3
東予歯科	3
福田医院	3
平田クリニック	3
いしづちやまクリニック	2
横山病院	2
加藤整形外科医院	2
済生会西条病院	2
松田循環器科内科	2
村上記念病院	2
丹原	2
その他	22
計	87
N= 43	

バスで行けるといいと思う医療機関	
施設名	回答数
西条市立周桑病院	7
愛媛大学医学部附属病院	6
西条中央病院	3
横山病院	2
河野内科	2
済生会西条病院	2
四国がんセンター	2
村上病院	2
福田医院	2
その他	10
計	38
N= 20	

【商業施設】

普段よく行く商業施設	
施設名	回答数
ヤマサンセンター 丹原店	30
木村チェーン丹原店	17
マルナカ東予店	12
フジ 東予店	11
周ちゃん広場	8
ディオ東予店	8
ダイキ周桑店	7
コスモス 丹原店	5
とうしょく丹原店	3
その他	17
計	118
N= 49	

バスで行けるといいと思う商業施設	
施設名	回答数
ヤマサンセンター	4
ヤマサンセンター小松店	2
周ちゃん広場	2
フジグラン 重信店	2
その他	14
計	24
N= 13	

○これらのアンケート調査結果から、回答数が複数あった以下の施設を乗降ポイントの候補に設定する。

表 10 乗降ポイント候補地（案）

No	医療機関	No	商業施設	No	その他
1	周桑病院	1	木村チェーン丹原店	1	桜樹公民館
2	河野内科	2	とうしょく丹原店	2	中川公民館
3	徳永歯科	3	ヤマサンセンター丹原店	3	田野公民館
4	今井クリニック整形外科	4	コスモス丹原店	4	徳田公民館
5	福田医院	5	周ちゃん広場	5	丹原総合支所
6	中村内科胃腸科	6	フジ東予店	6	東予総合支所
7	加藤整形外科	7	ダイキ周桑店	7	湯谷口バス停
8	やまもと眼科クリニック	8	ディオ東予店	8	壬生川駅
9	平田クリニック	9	マルナカ東予店	9	丹原郵便局
10	いしづちやまクリニック			10	周桑農協本所
11	東予歯科			11	伊予銀行丹原支店
12	渡部病院			12	愛媛銀行丹原支店
				13	愛媛信用金庫丹原支店



図 17 乗降ポイントの位置